

非暴力直接行動

NO. 159
88/7/25

Non-Violent Direct Action

WAR RESISTERS' INTERNATIONAL - JAPAN



東京 日本橋区 日本橋 1-10-15 日本橋ビル

発行・WRI(ワリ) 水田あさひ 井原・大阪市西淀川区九軒町1-6、1-1307.06.447-4089

おにぎり

1 電話作戦実況

猪熊評便せなアカン!!

● 島根県発見号 試運転中止!

▲ やったなア・集中電話作戦・呼応してくれた全国のみならず。ありがたう。

● 11日夜、あちこちへ知らせたら、うわあーという女たちはみんなようこんだのに、男は「ホンマかいナ。にまた故障したというところで、電話作戦が通のたわけではないやろ」と、わりあい冷静やった……

▲ 男はアカンなア・それ、まるで中絶の広報課長の女の方そっくりや、いうこと判ってるのやろか。

● 誰か何と云おうと、うちは断固として云うてエ・電話作戦が「え号」をとめたんやと・中絶に、「それみてみい!」と大声で云

えるの、胸張ってうちらだけやんか!

▲ そうや、こんな場合こそ、自分らのやつたことを自分らの側に引きつけて、しつかり評価するのが運動の立場や。それがまた次の元氣とがんばりにつながるんや!

● いままでの情報によるとー

■ 11日午前10時きつかり、マスコミ、報道記者を舍の1約100人が見守るなか、タービン発電機スイッチオン。

■ 午前10時21分。出力9万キロ(へ)始動

時4万キロに上昇の時

時京で、異常発生、発電機

機ついでタービン緊急自動停止。



(ちやうど、その頃は「集中電話作戦」のまっ最中)

■ 発電機・タービン自動停止の原因不明。収拾が難なく、寸秒を争う時間は経過するばかり。へびの事故の恐れに同輩狼狽、逃げ出す来賓。

■ 午前10時55分。現場の独自の判断において、遂にそれまで稼働中の原子炉「停止」を決定。

(原子炉をとめるべきか、どうか。不測の事故故につながる峠路に立つた中電当事者が、その日午前9時15分からはじまった全国からの無電無数の警告、抗議電話を、まるで無視し、その時まったくその影響をうけることなく、あえて原子炉停止の判断を下した)と一体誰が断言できるやうか。さらに「集中電話作戦の通話ピケ」によって、本社や日立など製造メーカーと連絡や協議が殆ど不可能だった。滞滞したかもしれないとすれば、原子炉停止決定に果したへ集中電話作戦の直接的間接的な影響を、どうしても無視したいのは「中電」さんやじ。

■ 午前10時55分、制御棒を手動し、原子炉停止作業に踏切る(午後2時26分完全停止)。あわせて島根県庁へ事態を報告。(一説には県庁報告はもっとおそくは時半ともいう)

【註】「集中電話作戦」については、7月5日発行臨時(18号)

特別版(B6パンフレット)参照。

—ということになつてゐる。

◎ それにしてもこんどは

集中電話すぎだった。9時

にふきつかりにダイヤルまわ

したけど、もうなんぼかけても話中。

9時30分になつても、40分になつてもせんせんからへん。

▲ (そん) うち、あゝいま全国でみんな電話差の前でダイヤル廻してんねんな、と思うたら、もうジーンとした。これが自由連

合やあもて...

◎ ぼくは午前9時10分、抗議折衝中の中電支社前を放れて

すぐ構内の電話ボックスへ走った。申合せより2分早い9

時は分に電話をかけた。すぐつながった。テレホンカード

で4通話分のところで、一たん切つて、又かけ直したらもう、

それからずうつと話中ばかり。

▲ でもS子さん、かけつづけてたら、9時30分ごろ、一回

又かかったんやて。

◎ それ宝クジみたいな「当り」やて。

▲ 正10時、切りかえて島根県庁にかけたけど、それはもう

ずっと話中。電話ボックスに立ちうづましの二時間近く、



▼ 電話作戦 注釈② まず自分らの周りで、90%カバリーできる体制をつくってから提起すること

くたびれてしもた。

○ そいでNTT放債係の13番に、「どうなってるの。30分もかけついでつなげへん」と白っぽく来てきいたら、「先刻からずっと全回線がふさがったままです」という返事。

▲ 11時ちょっと前、切り上げて、中電の門前へ戻ったら結局、交渉へまず通用門をあげなさいは不調のまま、女のくたしが、エーじゃないか、をやつていた。

◎ 門の中のうしろのうで、エジマナイカの最中ずつと手拍子、終つたら手を差上げて振つてる社員がいっぱい、▲ あとで批評のFさんにきいたら、「電産中電」(労組)のくやて。もう感激したな。これだけでも松江へいった甲斐がある！



2

高松ー東京ー能登

そして、こんど……

▼ 松江での

ばくらのデモ

◎ ところで、15号に、富山金沢行動から、島根へ引継ぐことになっているけど、さへ行ってみて、こんどの松江大集会はどうやつた。

▲ まず個人的なことやけど、今度の松江ユキは、今までの行き方と多少ちがって、そのちがったという意味の大事さが、よく判った。

◎ 「ちがった」という意味の大事さ……

▲ 前回の能登行きときは、いまふりかえてみると、(親しい友人知己がたくさんいるという事情もあるけど)、みんなそちらさんまかせで、行く前に内情を予見し、自分の役割をきいて、行ったんではなかった。

◎ そうや、高松も東京も、その点では同じや。つまり、そへいくのは、(よく胸底のぞいてみたらしいぜいぜい死すも自覚した)親の死目に立会う子供ぐういの程度で、見物気分の野次馬応援団もエエかげんのところへとくに先方から要請うけての動員やないのやから、よけい気楽で、そのとき任せや。

▲ ま、行つたら何か自分のやることもあるやろ……という位のことで行く。そして、デモと集会に参加する。

◎ そんなヤジ馬みたいなの、つまり、何の用事も心づもりもなくして行つた者をも、やあ、とみんなが要入れてくれて、しか

も気付くといつのまにか自分がその主人公のようになつてゐる。びびりながら踊つてゐる「のびのび」ということは、例えば「デモしながら路上でおどるなんて、とてもハズカシくてようやらんかつた人か、ついついおどつてた、おどることを出来た。一程度の^{（個人の内情）}さとしてしかないのやけど」——それが「高松」やつた。

▲ところが一度それを経験したら、それ以上のことにはもう二度と出会えないのに、やっぱり同じようなことを心のどこかで期待し、何かあるつもりで、「のり」にいく。のれにか、のれなかつたかが「集会」のよしあしの^{（自分の）}評価を左右して「ー」ことを殆ど自覚していないという問題に、はじめて気付かされたんが、「能登行動」やつた。

◎ こんどの「島根」では、「集中電話作戦」の提起のほか、行動を予想して出てくる問題想定解答集みたいなメモをつくつて、人とらかうの・パレードがすんだら日夜も、生時三時にパツと起きて、何やらノートしたりしてたけど……

▲ 向うへいったら、富山・金沢より、もつと松は、労働組合が今迄から活動していて、「核燃料搬入阻止」などでは毎回主力になつてかへばつてきてる、ということがあつた。一方市民グループは、富山金沢に比べると、もつと山

数で、しかも動きがあるのはこのごろ出てきた新しい人たちです。——というよう

な状況（と感じた）。

で、地許の話しかける市民グループもわかれへん。事情も知らん



思いつきの（？）に、今度また（？）あれこれ考へてたことも、ついおぼろげに覚えた。夜中にかいてたのは、支社前で抗議の歩中にさわぐとき、「かえ歌、歌詞」と電話作戦でつながつたとき、長電話の種など……

◎ としたらこんどの「島根」も、へ電話作戦を別にして、そのときまかせの、やっぱりヤジ馬鹿援団？

▲ いやちよとだけやったことがあるね。行きがけから云うてたけど、10日午後3時から市の市庁デモに、ぶるだけハデにやみな「やり方」をへ昇和感・嫌悪感・妨害感を与えないように気を配るがう、つけ加へ、自分たちのしみなから、まわりの人（？）を、まきこみ、松江市民やマスコミの注目をひくようにする——ということ。

◎ こんどは大阪からというても、女グループは原さんとう

▽ 非暴力直接行動は、年間千五百円の購読金。パキ送つて下さつた方に（封筒） 年分をつくつておき、発行毎に送ります。（発行は年々10回位） 封筒が切れかけるときは、「封筒あつと一枚」「封筒切れ」と表がきします。

▽封筒印のままでなんらかのご連絡の無いときは、それで封筒がなくなり発送は自費で済みます。
▽交換は、手紙その他の裏書き住める印取り、それを封筒に貼付する方法で、それ一回ごとになります。

ちぐらうで、ほかにも大阪ワーカーズが10人以上までにやど)

▲おとこは民さん・ホッピー・ぼく・茅村くん。6人で自力が出えへん。で顔見知りの、倉敷のアアチ・徳島の丁々くら三人組・下関の大谷くらに、デモのときは一しよにやろうと、予約話をしといて、(九州の木村さんや梶原さんを見つけたので一しよに、さうたら、こちらは一博多どんたくにやるので、ユカタまでもってきても、スゲナイ?返事。コリヤ買われぬと...)。

◎それでまあ、15人、たまたま何となく周囲にいる人にも含めると、30人ほどにはみえるグループがつくれた。
▲ハンドマイクなしやけど、音は、徳島組のコンキチの鉦、原良さんのドラムとピアノ?でまず充分。

◎二丁の先頭が中電ビルを一団してきて、後尾のうちの列と橋のたもとですれちが

て、ご対面ーみえいなシ



ンあつたね、みんな止止って呆れてびっくりにしたみたいになつたのデモをみてた、

▲拍手してたで。

◎あいちちゃんか、デモであんなに大声出して、ハッスルしてるのはじめてみたよ。

▲ぼくとしては、ちよっとハメをはずした(というても、もう何年か前から大阪ではやつてることやけど)元気で発教するデモの「カリオ」を、マネしやすいいな型みたいなのとして、松江のゲル(男)を残しとこうという意図があつて久しぶりに元気出したんや。

◎Fさんが、あんなデモ、松江では、はじめてやとやうてた。よろこんではった。

▲ぼくらの列にはいつてきて、はじめは声を一しよに出してる文やつたのに、中頃から、もうシャツを脱いだ、半裸のハカシで、ハチマキチャにおどりまわつて破目はずして20代の男の人が二人いたやろ。あのくら「組合青年部」なんやて。

◎きつと、こんどからあんなデモやしらもやろうとない出すよ。組合のデモもすこしずつ変つていく。

▲デモは一つの例で、こうして、高松からはじまつた新しい波は「形」から伝やつて、中味をも変えていくことになつた。
◎(おぼろげに)三丁の、いまが一番大事なときや。ちよっと位ムリしてでも、うちらもガンバなべちゃ...というやめ。

3 「警察が目立たなかったこと」への申入れ

◎ それはそうとして松江では、「警察」がほとんど目立たなかったね。

▲ 公園でも、ぐるっとまわってみただけで、私服らしいのを見かけなかった。

◎ デモのときも、三叉路などに、交通整理で立つてたぐらいだった。

▲ ところが、ナント裏通りにみかれてびっしり、~~お~~まで出てたんやて。

◎ いちもそんなんかどうが知らんけど、^{んかし}警察が表立たんいうことは当りまえのことやもんや。

▲ そやから、このことを見のがさず、逆に警察やマスコミ、市民に、よくその意味を宣伝しとかなアカン。

◎ こういうときこそ「申入れ作戦」の出番。

▲ うん、例えは警察に次のような申入れを送り、マスコミにはそのコピーをわたして、出来たら記者会見ー

■ 今回の集会とデモに全口から約千名集ったが、警察が表面に出た動きをしなかったため、混乱もさやがもなか

った。 ■ 私たちはふつう

の市民であり、非暴力を74に旨として行動してる者である。

■ 警察の過剰な警備や弾圧的規制こそが、か

つて混乱をまねく。今回の夜

獄ある松江署の対応は、当然とは言いながら、私たち市民も手翰も支持するものである。ーといったこと。

◎ それで、次の警察の出方にも「本・釘さじ」ということ

つちやな。

▲ ふだん何もないときにこんな手もうつとくと、三とそは富山や金沢のように、警察が介入したとき、その責任を問うアリバイとしてすぐ論に訴えることが出来る。

4 松江ではっきり判ったこと

◎ 「能登」でもそうやったけど、「××行動」というと、警察との対応の問題と共に、かならず、「電力」相手の「団体交渉」？というところが出てくる。



▼ 電話作戦 注意④ 個々のネットワーク(例えば大田の女がやってくる、電話のホシステム)づくりから拡大すること。

▲ こんどの松江でも「島根2号炉試験運転やめよ」の集会宣言を手交するというので、11日、中電松江支社門前朝9時、3、40人があつまった。

◎ 集会宣言とか決議というのは、はじめは意味もってたんやろうけど、参加者でさるエエかげんにきいてるーというふうにこのごろの現実ほ、すっかりマンネリ化してしまてる。そんなモン「電力」にぶっつけても……こちら側の一応の「しめくり」いうか、自慰的「かつこづけ」に過ぎへん。

▲ それが、だからいつも望ましい結果になってるーいこととは、今までに何となくかえしたことから、もう大抵のさんには、よう判ってるんや。

◎ それが、相も変らず、またくりかえすーいのは……そこやねん、問題は、前さ「非道」で富山金沢行動



にふれて、「だからやり方を変えなアカン。雪隠詰めと判りながら、又その手を打つなんて……」とかいたけど、島根でもっとはつきりしたことは、「やりかた

変えなアカン」ということには、程度の相違はあっても、大抵の人は気付いている。気付かずともやわれたらみなピンとくる。にもかかわらず、身動きがでけへんのや、いうことやった。

◎ 「たしかにそうやけど、現実ほ、なかなかそうはいかん、そうはならへん」という「現実性」に対して、そして「一体どうしたらええの、いうことやんか」。

▲ すくはどうにもならへん。行動のたびに「ちよつぱりでもやりかた変えることさ、古い、くりかえしながら」「だんだん、それを「他人ごとでなく」「自分のこととして」考えるさん、ウケルプをつくって、ウケルプが自分でやれるときはやり、異端突起になるときは、すぐ「みえな」の動きにあわせるーほかない。

◎ それで「島根」では、団友に一しよに加わって、その金中で「こんな不誠意な対応はもう相手にでけん・地許にあとはぼせて、ぼくらは帰ります」というマ、電話作戦に叩かえたんやな。

▲ 大げさに言うたら、膠着状態に対する「移動・転換」か、それや。

◎ ーくんが、松江の集会、まるでおもしろなかつたーと云うてたけど……。

▲ それはそやけど、しが松江の人には、店が出たりカレーを提供したり、演説ほとんどなしーといった集金の経験は、きつとはじめてびっくりするようなこともあったーにちがいないーということを思ふなアカン。

◎ 富山・金沢へいつにいうことのおかげやな。

▲ うん。「松江」で一層はつきりしたことはー自分と他の人との関係はーそぞ、自分自身が何らかのうごく場所うごくことをつくり、即応的にみつけれ、積極的に動くことだし、たしかめることがでけへんーいうことやった。

◎ つまり自分がうごいたことには例して、新しい（自分）「高松」が生まれるということ。

▲ これから、出かける以上、小さなことわざかなことでエエから、向うでやれることをたえ、それをもつていかにアカンな。そして「即応」。



▼ 6月30日 去年の月国体にくる天ヶヶをむかえ撃つていまきにいった時うるま祭で仲良くなれた白保のワロソボいと来宜かならずいくねと約束して、石垣島白保へ。5日まで。

▼ 宇利乃奈加万乃安以古登茂、喫天口乃里城

振替大阪ア三三七三七

ウリシヤパン・一部100円

中内人は、白保にはもうなんべも行ってるといふ江下さん、木のてんやま、

とめてもらったのは、山屋節子さん。一人でフツツといたら、こつとも来て

い目には合えんやろ。節子さんのふいふ佳平さん、まきさん、あひちく

▼ 7月6日 自根集中電話作戦ビラ発送作業

▼ 7月8日 かたつむり例会、全報、ブックマア打合せ。

▼ 7月10日 あんまり休みが続くんで行かんつもりやったけどやっぱり急に思いたっておいちゃん、島根へ。8日から二人ともゲリで特においちゃん、三六度五令もあて、あげたり下

げたり七転八倒。いやホンマ。三日間何も食わずで島根行き。しかし

あんまりの腹へりにイリサも出まるとまじまじのふたつた無料カニアイス（？）も、二入ともべつて、さこて気がついたらゲリをおえた。

▼ 7月13日 「死刑と人権」印刷、発送、ほとんど一日かかり。

▼ 7月16日 金沢へ。能登原花いん六日大行動をやった金

沢の女たちが、「女と反原発」や「非暴力直接行動」ー富山・能登行動、を

読んで、もううちとくわく知りあいたいと私もよくくれた。自來水のこと

に案に抱きに行なう時、こをみえまいるる反省し、おもしろかったりして、

これからも、まっとうな場面が予想されるので、くつろぐために「非暴力カトリ

ニク」もしたいという申し出があった。トリーナーにはあやみちゃんもたのんだ。あや

みちゃんのトリーナーはみことで、に強くなったもろた。金沢の人にもとまさんでく

れた。17日は富山の小倉さんがあかけられて、こどもも、あな流がでま